

都市再生整備計画(第3回変更)

千代田市街地地区

茨城県 かすみがうら市

平成22年12月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	茨城県	市町村名	かすみがうら市	地区名	千代田市街地地区	面積	311.6 ha
計画期間	平成	19	年度	～	平成	23	年度
交付期間	平成	19	年度	～	平成	23	年度

目標 大目標 「にぎわい」と「うるおい」のある安全・安心の中心地区整備 目標1 公共施設や商業の集積による「にぎわい」のある都市空間づくり 目標2 世代を越えた交流の促進による「うるおい」のある暮らしの創出 目標3 子どもからお年寄りまで安心して暮らせる都市基盤の整備

目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現況 <ul style="list-style-type: none"> ・かすみがうら市は、平成17年3月に霞ヶ浦町と千代田町が合併し誕生した。茨城県南部のほぼ中央に位置し、霞ヶ浦と筑波山系の南麓にはさまれ、優れた自然景観と都市景観が調和した田園都市である。 ・市の人口は、平成17年国勢調査で44,603人で、平成7年からの10年間で685人減少しているが、当地区を含めた千代田地区では685人増加している。 ・世帯数は、平成17年国勢調査で14,302世帯で、平成7年からの10年間で975世帯増加するなど、核家族化が進んでいる。 ・0歳～5歳の人口は、当地区を含む千代田地区において1,721人であり、市全体の約70%を占めるなど、若い世代が多い特徴を有している。 ・当地区は、隣接のJR神立駅を中心に商店や住宅、工場等が集積された古くからの人口密集地区であるが、近年はモータリゼーションの普及に伴い、駅周辺の交通機能の不足や、郊外への商業施設の進出などにより商業施設の空洞化が進むとともに、市民の交流拠点としての市街化区域の機能が失われつつある。 ・都市計画道路神立停車場線は、昭和38年に都市計画決定されて以来、一部は開通したものの、全線開通が期待されている路線である。 ・神立停車場線の開通部分と、都市計画道路木田余神立線に面して、複合型商業施設が進出している。 ・都市計画道路木田余神立線に面する近隣商業地域が未利用となっている。 ・地区内の公共施設としては、働く女性の家、勤労青少年ホームがあり、そのほか自治会等の集会施設が市民の交流活動の拠点となっている。 ・さらなる交流の促進に向けて、旧両町の既存の公共的施設の有効利用を図っている。
課題 <ul style="list-style-type: none"> ・神立停車場線の、木田余神立線との接続部分が改良されていないため、多くの車両が複合商業地域内を通過走行し、駐車車両及び買い物客が混在し危険が指摘されている。また、利便性の向上に向けて周辺の渋滞の解消を図る必要がある。 ・世代を超えた交流を促進し、地域コミュニティの確立を図るための、交流空間が不足している。 ・地域間の交流を促進するため、当該地区を中心に、旧両町の庁舎を中心とした行政拠点等を結ぶ交通ネットワークの充実と、地域内の円滑で安全な交通の確保を図る必要がある。
将来ビジョン(中長期) <ul style="list-style-type: none"> ・旧千代田町都市計画マスタープランでは、国道6号とJR神立駅を結ぶ道路及び駅周辺の道路・公園等の都市基盤の整備を総合的に行い、市街地として安全・快適・便利な環境の整備と魅力ある都市景観を形成することとしている。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値		
				基準年度	目標年度	目標年度	
神立停車場線の交通量	台/12時間	都市計画道路神立停車場線の通過車両数	複合型商業施設へのアクセス改善や、近隣商業地域の整備促進による「にぎわいの場」の創出を図る。	7500台	18年度	7700台	23年度
子育て支援施設の利用者数	人/年	0歳児から未就学児の親子の利用者数	親子の遊び場の提供による交流や、育児相談など子育て世代を支援する。	12,000人	17年度	21,000人	23年度
生活道路の満足度	%	幹線道路や身近な生活道路の満足度	快適な日常生活に資する道路整備を行う。	7.10%	17年度	10%	23年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1 活力とにぎわいのある市街地の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複合型商業施設や近隣商業地域へのアクセス改善を図る。 ・通過交通の分別を図り、安全で円滑な交通の確保を図る。 ・公共施設や各拠点を結び、地域間交流の発展を図る。 	<p>道路事業（基幹事業：神立停車場線整備） 地域創造支援事業（提案事業：コミュニティバス運行事業） 関連事業（地域公共交通システム運行事業）</p>
<p>整備方針2 世代間交流を推進する拠点づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと保護者、高齢者まで、世代を超えた交流を進める拠点を整備する。 ・地域で子育ての支援に取り組むための拠点を整備する。 ・高齢者が、健康でうらおいのある生活を送る拠点を整備する。 	<p>高次都市施設（基幹事業：地域福祉センター） 地域創造支援事業（提案事業：地域福祉センター）</p>
<p>整備方針3 安全・安心・快適に暮らせる道路整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既設舗装面や側溝の破損による、路面の水溜りや、騒音・振動などを解消し、安全で安心な通学や公共施設の利用など、快適な日常生活に資する道路整備を行う。 	<p>道路事業（基幹事業：市道㊦0456号線外舗装補修・排水整備、㊦0483号線舗装補修・排水整備、㊦0004号線舗装補修外）</p>
<p>その他</p>	

都市再生整備計画の区域

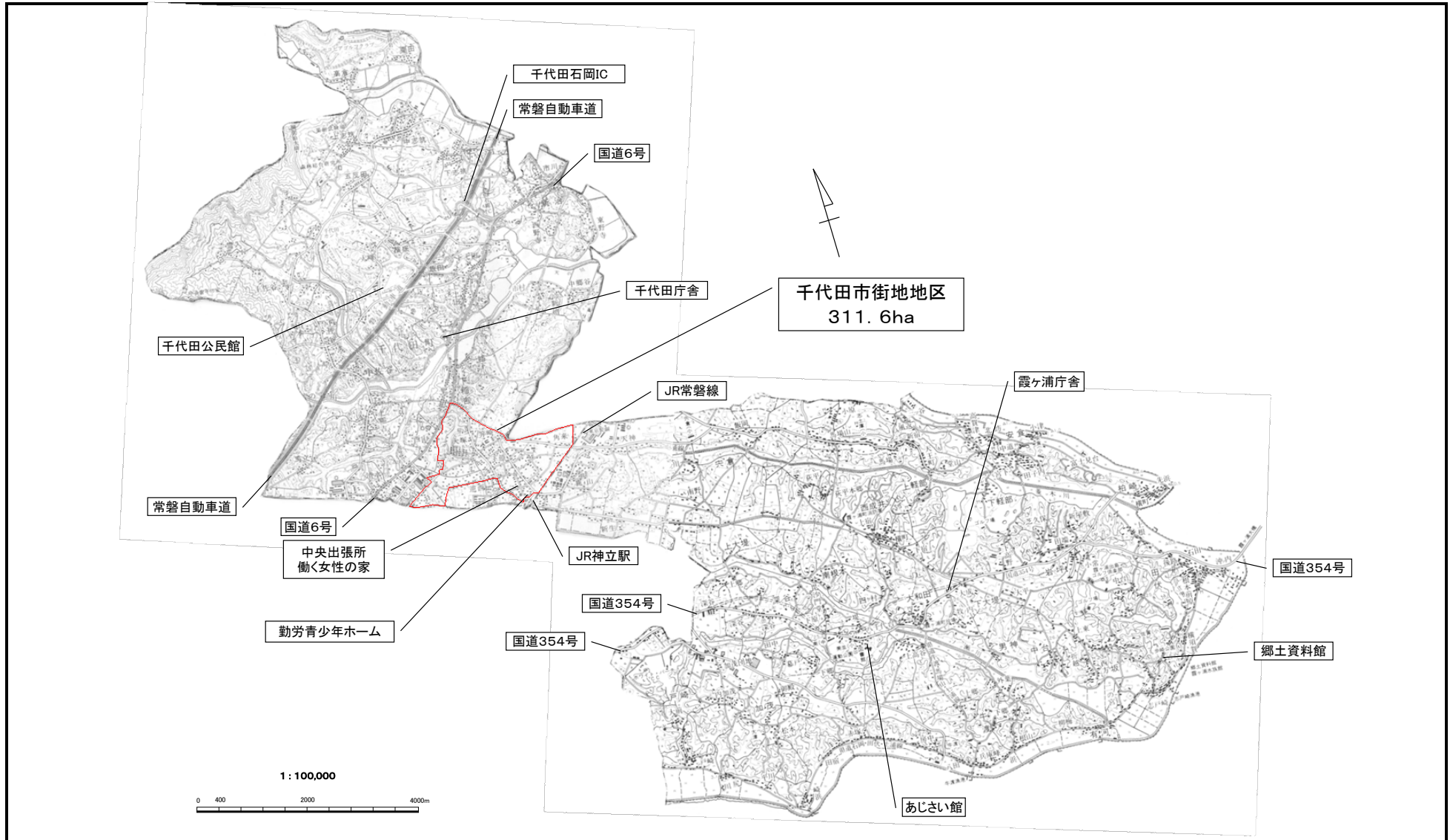
千代田市街地地区(茨城県かすみがうら市)

面積

311.6 ha

区域

市街化区域の一部と角来地区



千代田市街地地区(茨城県かすみがうら市) 整備方針概要図

目標	大目標 「にぎわい」と「うるおい」のある安全・安心の中心地区整備	代表的な指標	神立停車場線の交通量 (台/12H)	7500 (18年度)	→	7700 (23年度)
	目標1: 公共施設や商業の集積による「にぎわい」のある都市空間づくり		子育て支援センター利用者数 (人/年)	12000 (17年度)	→	21000 (23年度)
	目標2: 世代を超えた交流の促進による「うるおい」のある暮らしの創出		生活道路の満足度 %	7.1% (17年度)	→	10% (23年度)
	目標3: 子どもからお年寄りまで安心して暮らせる都市基盤の整備					

